

## 2 シートの活用の留意点と「個別の教育支援計画」作成の実際

### モデル事例 小学2年生 Aさん

《児童生徒の様子と保護者や担任の願い》

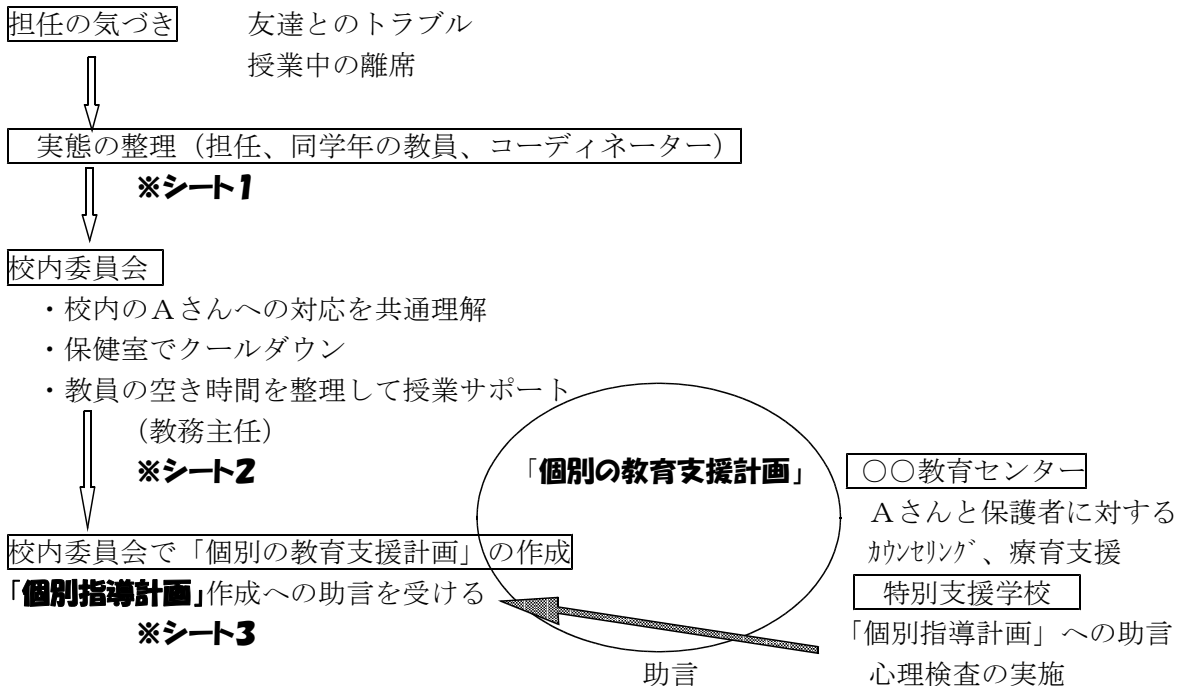
Aさんは、通常学級に在籍している小学校2年生です。

誰とでも気さくに話すことができ、特に大人とのコミュニケーションは良好です。しかし、休み時間や授業中に友達とトラブルになることが多く、目が離せない状態です。学習面では、計算は得意ですが、課題の量が多いと取組が難しくなります。算数の文章題や国語の漢字書き取り、音読は苦手です。国語と算数の授業中は特に離席が多く、学習が成立しにくくなっています。

保護者は、友達と仲良く過ごし、勉強ができるようになってほしいと思っています。

担任は、Aさんが学級の友達から否定的な目で見られマイナスの評価が固定化され始めていることを心配し、なんとか友達とのトラブルを減らしたいと願っています。

《「個別の教育支援計画」作成までの流れ》



### 「個別の教育支援計画」

- ・シート1(コーディネーターや同学年の先生と検討)
- ・シート2(校内委員会での検討)
- ・シート3(「個別の教育支援計画」として活用)
- ・「個別指導計画」(特別支援学校のコーディネーターから助言を受けて作成)